

貝・甲殻類標本

? 貝ってなんだろう？

科学センターにはたくさんの貝の標本が展示してあります。では、貝とはそもそもどのようなものなのでしょうか？
 貝（貝類）とは外側に硬い貝殻をもつ軟体動物です。現在、科学センターに展示しているものは貝殻のみですが元々はその中に柔らかい本体が入っていました。軟体動物にはイカやタコのなかまもいます。その名の通りからだは柔らかく、骨がありません。食べたことのある人はその柔らかさを思い出せるでしょう。また、貝は姿かたちも様々でとても興味深いです。あなたも色々な形・大きさの貝を見つけてみましょう。

? 色々な貝！

貝は非常に種類が多く、日本近辺だけでもその種類は5000種類以上とされています。

・大きい貝

科学センターには世界最大の貝が展示されています。まずは世界最大のまき貝であるアラフラオオニシ（図1）。オーストラリア北部からアラフラ海に生息しています。また、まき貝は右巻きと左巻きがありますが、多くは右巻きです。このアラフラオオニシは何巻きかな？もうひとつは世界最大の二枚貝であるオオシャコガイ（図2）。沖縄以南の西太平洋などの珊瑚礁に生息しています。どこに展示されているかわかるかな？

・おもしろい貝

変わった形の貝もたくさんあります。例えば魚の骨のようなその名もホネガイ（図3）。西洋では女神のくしに例えられているそうです。

・美しい貝

貝は殻の外側だけでなく、内側の様子にもぜひ注目して見てみてください。クジャクアワビ（図4）はその内側がクジャクの羽の模様によく似ており、非常に美しいです。外側だけの観察では気づけないところも魅力ですね。

・めずらしい貝（図5）

ここのコーナーにはなかなか目にしない希少なものが展示してあります。お気に入りのものは見つかるかな？

? 甲殻類ってなんだろう？

甲殻類とはからだは硬い殻で覆われた生物で、エビやカニのなかまのことです。軟体動物と同じく、からだの中に骨はありません。ここには世界最大のカニが展示してあります。タカアシガニは脚の伸ばした長さが世界最大です。日本近海の深海に生息しています。

たんきゅう 探究・研究コーナー！ 調べてみよう！

身の回りにも多くの貝類や甲殻類がいます。例えば昨日の食卓に並んでいたものはありませんか？海に行ったとき、見かけたことのあるものはないでしょうか？ぜひ見つけてみてくださいね。そして、科学センターに展示してあるものと比較してみてください。同じなかまに分類されるもの、全く別のもの、自分でなかま分けしてみても面白いですね！また、わたしたちヒトや他の生き物とのからだのつくりの違いもぜひたくさん発見してみてください。



図1



図2



図3



図4



図5

